

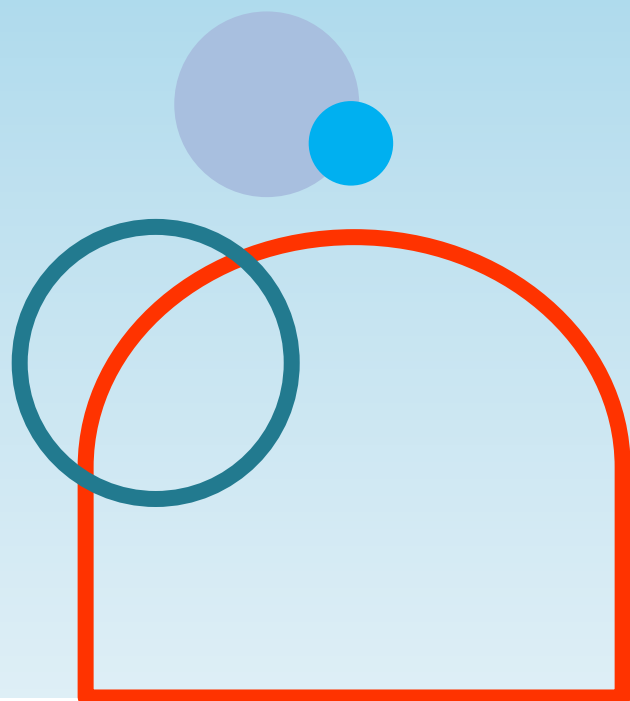


ケイ素材料開発株式会社



ケイ素材料開発株式会社

会社案内



ケイ素材料開発株式会社は、ケイ素材料(ケイ素を含む化合物)の専門家として、ケイ素材料の応用と新規開発を通じて、お客様の素材開発や機能性向上、その他問題解決に貢献します。

ケイ素材料とは

ケイ素材料とは、ケイ素 (Si 原子) を含む化合物の一般名称です。シラン、シリコーン、シリカ、シリコーン変性有機材料等、さまざまな化学組成と形態があり、それぞれユニークな特性を持っています。

ケイ素材料開発株式会社は、その中でもケイ素系有機化合物に特化し、先端素材に機能を付加する中間体をお客さまのニーズに合わせて開発・供給致します。

広い応用範囲を持つケイ素材料の特徴

優れた物理特性

- 耐熱性、耐寒性、耐候性、透明性、電気特性、特異的な表面特性等

複合材料の必須要素

- シランカップリング剤
→複合材料の有機/無機界面改質
- ケイ素の特性や多種官能基の導入
→有機材料の機能性向上
- ポリマーの共重合や末端改質、架橋点導入
→ポリエーテル、ポリエチレン等

無機ケイ素材料のプレカーサー材料の可能性

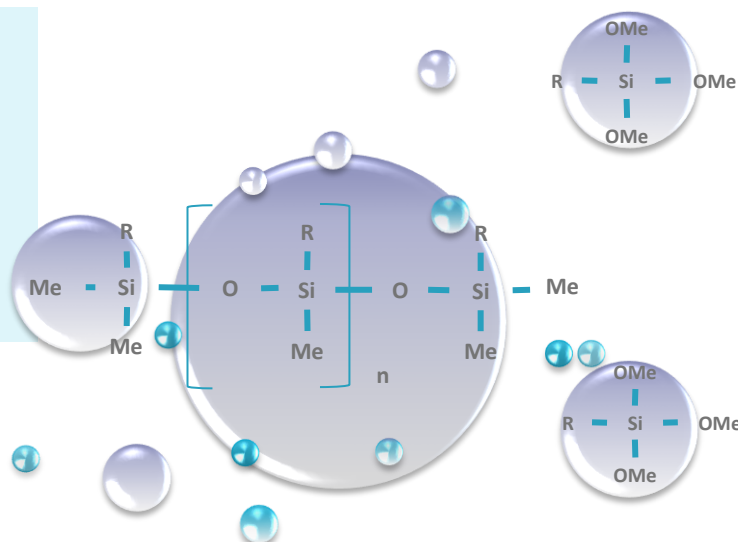
- 蒸気圧を持つシラン化合物のCVD材料への応用
- スピコーティング/焼成による安価な無機被膜の形成
- 半導体プロセス材料への応用、被膜特性の実現

化学構造設計の高い自由度

- 低~超高粘度を主鎖長でコントロール
- 分岐、環状構造、有機基や複数官能基の導入
- 液体、弾性体、リジットなレジン等
製品形態に関する広い選択肢
- 反応性や親和性を管理する多くの手法

有機合成反応試薬としてのシラン化合物

- 重合開始剤、重合触媒助剤
- 保護基、炭素-炭素結合形成試薬



経営方針

- ケイ素材料の開発を通じて社会的ニーズに迅速かつ的確に応えお客様の満足度向上に努めます。
- 法令を順守し、環境保全に努め、社会的責任を果たします。
- 人材と知見を大切にし、従業員に社会貢献の場を提供します。

会社概要

会社名 ケイ素材料開発株式会社
所在地 〒183-0035 東京都府中市四谷4丁目52-53
TEL 042-316-7268
設立 2013年10月
資本金 500万円
代表者 代表取締役社長 白幡明彦
連絡先 info@kei-zai-kai.com
URL <http://kei-zai-kai.com>



業務内容

- **ケイ素材料を用いたソリューションの開発・提案**
ケイ素材料の適切な使用方法に関する各種コンサルティング
お客様の求める機能を実現するケイ素材料の開発および供給ソースの確立
- **ケイ素材料、機能材料の製造・販売**
お客様の素材の高機能化のための改質材、添加剤、原料として役立つケイ素材料の製造、販売
- **ケイ素材料の供給や調達に関するサポート及びコンサルティング**
製造プロセス開発や量産化のサポート、生産設備の安定運転
原材料・中間体の安定調達

沿革

- 2013年 ケイ素材料の知見を持った有志が集まり、ケイ素材料に関する事業開発会社を設立。ケイ素材料のユニークな特性を活かした製品やその応用に関するノウハウを提供し、産業界、特に先端素材産業の発展に貢献することを目指して事業を開始。
- 2014年 農工大・多摩小金井ベンチャーポートに入居。実験及び試作の実務を開始。
- 2014年 各種分析機器、製造設備を整備してケイ素材料の試作や用途開発の機能を拡充。国内外のユーザーのニーズに応じてケイ素材料を提供開始。
- 2015年 ユーザーの実機試験に必要なサンプル量を生産する少量生産設備を導入。海外ネットワークを構築してサンプルの輸出や原料輸入を開始。
- 2016年 ケイ素材料の物性、機能を測定するため各種分析設備を継続的に導入。
- 2017年 吉良満夫教授（東北大学名誉教授）を顧問に迎えてケイ素化学の基礎研究を強化。
- 2018年～ 東京農工大学渡邊敏夫教授と共同研究を実施、2021年4月に同大学先端産学連携研究推進センター（URAC）に活動拠点を構える。
- 2014年～2021年 中小企業庁、東京都等の補助金事業に採択され技術開発、製品開発を実施。
- 2021年 事業拡大のため、府中ラボを新設（府中市四谷4丁目52-53）し、開発活動を強化。



ケイ素材料開発株式会社

ケイ素材料開発株式会社

〒183-0035 東京都府中市四谷4丁目52-53

<http://kei-zai-kai.com>

2021.10-1